

乳がん患者会『花水木の会』ご紹介

- (1) 花水木の会とは
 - (2) 花水木の会の役割
 - (3) 花水木の会にご興味のある方は
-

(1) 花水木の会とは

患者さまたちの手で運営されている患者会、「花水木の会」は2009年5月に誕生しました。

花水木の花言葉は“私の想いを受けてください”です。そして、歌手の一青洋竊さんの代表曲「ハナミズキ」の歌詞には、“僕の我慢がいつか実を結び 果てない波がちゃんと止まりますように 君と好きなひとが百年続きますように”とあります。

患者さまの想いが、会を始めた5月頃に咲く花水木の花に重ねられ、「花水木の会」と名付けられました。

(2) 花水木の会の役割

現在、「花水木の会」は総会を年2回のペースで開いています。会の中心は「おしゃべりの会」です。小グループになり会員の方同士で、その名の通り自由に‘おしゃべり’をしてもらいます。同じ病とはいえお一人お一人の病状や治療方針、周囲の環境などは異なりますが、それぞれお互いの体験談や想いを語り合ったり情報交換しあったりすることで、気持ちが少し軽くなったり、考えが整理されたり、新しい発見があったりすることもあります。参加された方の多くは、良い表情になって帰っていかれます。

「おしゃべりの会」の他には、これまでに「最新の乳がん治療について」の乳腺外科医の講演や、当院のスタッフによる「リハビリ体操」を行ったり、外来講師をお呼びして元気に見えるメイク法を皆で勉強したり、歌手を招いてミニコンサートを開催したりしました。

(3) 花水木の会にご興味のある方は

乳がんと診断されて不安のない方はおられません。しかも、治療は長期戦です。語り合うことで、少しでも不安が減り、前向きに治療を受けることができますようにという想いで運営されている会です。

ご興味のある患者さまは、お気軽に病院スタッフにお声掛けください。

